



登小だより

水無月号

登立小HP
文責 校長

人権集会も

思いやりの心を育てる

梅雨空のもとでも、のびっ子たちは元気に学校生活を送っています。この時期、本校では「人権」について改めて考える時間を設けています。学校生活の中で大切にしていることのひとつが「相手の立場に立って考えること」です。日々の言葉かけやちょっとしたふるまいの中に、人を思いやる気持ちが表れます。「その言葉で、相手はどんな気持ちになるだろう?」「自分がされたらどう思うだろう?」と、立ち止まって考える力を育てていきたいと考えています。また、学校では「いじめは絶対に許さない」という姿勢のもと、誰もが安心して学べる環境づくりに努めています。違いを認め合い、お互いを尊重することの大切さを、道德の授業や学級活動を核に、生活の中で伝えていきます。ご家庭でも、日々の会話の中で「ありがとう」「ごめんなさい」「大丈夫?」といった思いやりのある言葉の大切さについて話し合っただけで、お子さんの心の育ちにつながると思います。すべての子供たちが「自分は大切にされている」と感じ、「相手も大切にしたい」と思えるような、温かい学校づくりをこれからも進めていきます。

のびっ子会が中心となって

のびっ子たちの自主的・主体的な活動が広がっています。学習や委員会活動を生かした行動の工夫が学校中に見られます。子供同士が学年の枠を超えてつながろうとする意識が高まっているようにも感じる光景です。



会場の体育館までの移動の際は、生活委員のみなさんが、安全な廊下の歩き方に向けて、事前に雑巾かけや呼びかけをしていました。自主的、献身的な姿に感動しました。これも思いやりの広がりの証です。



のびっ子会主催のイベントです。梅雨空を吹き飛ばせ!」をテーマに、昼休みの楽しい過ごし方を企画してくれました。

活動の様子はHPで紹介します。

開きました

学級においても、各クラスが人権を尊重する関わり方において目標を立てました。その取組を全校で紹介し、全員で確認し合うことで、互いの言動を深く見つめる活動を進めています。

職員室での人権宣言のプレゼン



人権集会の様子

令和7年度のびっこ人権宣言

- ★友達が笑顔になる言葉をつかいます。
- ★友達にとって、自分でいいことか悪いことかを考えます。
- ★友達一人一人の気持ちを大切に、みんなで助け合います。



スマイル ミッション!

2025 年 6 月 13 日

すざき かえり さんのほうこうをします!

雨の日も トイレさうじなどの ボランティア をしていた。まわりのことを考えて、気づかいができていた。

「スマイル ミッション」のびっ子同士で互いのよさの投稿

〔追伸〕 7月4日(金)は授業参観・懇談会の実施並びにPTA講演会が予定されています。ご来校ください。講演会では、命をテーマに講話をいただく予定です。子供たち(4.5.6年生)も拝聴します。皆様方のご来校を心待ちにしております。

のびっ子 やさしさくばり大作戦

いじめを見たのに知っているのに「しらんぷり」をする人がある。「しらんぷり」をする人がいなくなればいじめはなくなる

- ミッション1 考え方をかえる
- ミッション2 行動をかえる
- ミッション3 クラスをかえる

ミッション1「考え方をかえる」いじめについて こんなふうを考えよう



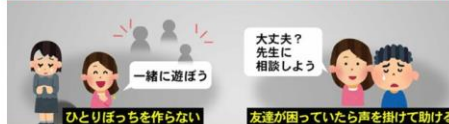
いじめに「みんなも」「あそびだから」「これくらい」はない。いじめは ぜったい ダメ!

ミッション2「行動をかえる」いじめにあったら・見たら こうしよう



いじめられたら「すぐに相談する」いじめを見つけたら「すぐに止める」

ミッション3「仲間をかえる」いじめをなくすために こんな仲間をつくろう



- ①みんなで「いごちのよいクラス」をつくる
- ②みんなで「ひとりぼっち」をつくらない。
- ③みんなで「困っている人」に声をかけて たすける
- ④みんなで「いじめのないクラス」へとかわる

学校運営協議会

第一回目を開催しました。委員の方々にご来校いただき、のびっ子の学習の様子を参観いただきました。その後は6年生との懇談の時間を設け、児童会活動をはじめ、学校生活の様子やのびっ子の成長へのご助言をいただきました。子供たちも、私たち教職員も、たくさんの方々に支えられた登立小学校であることを実感する時間となりました。いただいたご意見、ご助言をこれからの学校づくりに反映し、地域とともにある登立小学校を築きます。



委員の方々の授業参観



委員の方々と、のびっ子との懇談会

学校運営協議会委員の皆様方

会長	山下 勝市 様 (再任)	委員	桑原 克彦 様 (新任)
委員	山川 清英 様 (再任)	委員	須崎 和代 様 (新任)
委員	和田 誠治 様 (再任)	委員	水野麻理子 様 (新任)
委員	千原菜穂子 様 (再任)	委員	千原 健晴 様 (新任)

あとがき

「におい」には、ふとした瞬間に記憶を呼び起こす不思議な力があります。教室の木の机の香り、給食のにおい、雨上がりの校庭に広がる空気—どれもが日常の中にそっと寄り添い、心に残る風景の一部となっているのではないでしょうか。そうした日々のなかで出会う「におい」は、子どもたちにとっても、安心感やぬくもりを感じる大切な手がかりとなっています。だからこそ、私たち教職員もまた、学校がいつも心安らぐ場所であり続けるよう、一人ひとりの子どもに寄り添いながら、日々の教育に力を尽くしています。登立小に息づくさまざまな「におい」が、「のびっ子」たちの未来において、楽しく、忘れがたい思い出として残り、やがて社会の中で自分らしく歩んでいくための確かな軸となってほしい—そんな願いを胸に、これからも豊かな学校生活の実現に努めてまいります。

4年生が 総合的な学習の時間で地域活性化の取組について学習を進めています。天満宮の歴史を掘り起こし、そして、地域の文化に触れながら学びを深めています。今回は地元の歴史に詳しい山川さんを講師にお迎えして、天満宮の由来と伝統玩具「うそ」についてお話いただきました。学びを地域活性化「夏祭りを盛りあげよう」につなげるために真剣な学習を重ねている4年生です。



七月二十四日の天満宮夏祭りでは子供神輿で祭りを盛り上げる4年生です。



水泳の学習においてプール掃除に取り組みました。のびっ子全員が、自分のできることを見つけて頑張りました。今年のプールは水質改善の学習(乳酸菌による浄化)で進めてきた成果があり、汚水度合いも低く、掃除が簡単でした。大矢野の水は八代からの「友情の水」です。心も使いながらしっかりと水泳の活動に取り組んで欲しいと思います。



続いてプールびらき みんなでそうじを頑張ったプールに「友情の水」が満たされ、いよいよプールでの学習が始まりました。学年ごとに「プールびらき」を行い、今年高める泳力の目標、水の事故から命をまもること、そして、友情の水への感謝の気持ちを高めあったのびっ子たちでした。



引渡訓練 大雨による自力下校困難を想定した「引き渡し訓練」を行いました。3年生以上はホールに集合し、保護者の方々のお迎えを待ちました。1、2年生は教室で待機です。6年生からの呼びかけもあり、気を引き締めながら訓練に臨んだのびっ子たちでした。全員がきちんと待機できました。最後は、保護者の方々のお迎えに笑顔ののびっ子たちでした。災害が起こらないこと心から願います。



児童集会を開きました のびっ子会のみなさんが中心となって児童会活動の様子や各委員会からの連絡を行いました。今回は環境委員会・生活委員会からの呼びかけとNBT(のびっ子タイム放送局)からのお知らせでした。集会の終わりにはPKT(パワフルキッズタイム)の取組で「友だちと仲良くしたり、初めて会う人ともすぐに仲良くなれる力」を高める活動をしました。笑顔が輝く時間となりました。

NBTとPKTの様子 NBTではのびっ子会の委員さんがアナウンサーとなって番組を進行しました。PKTではコミュニケーションを深める活動をしました。



水俣に学ぶ肥後っ子教室 5年生が校外学習「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に参加しました。水俣の地で取り組まれている環境再生への取組の様子を確認する学習活動を行いました。学びを通してふるさとの環境保全についても問題意識を高めた5年生でした。これからの学びの広がりを期待します。よく頑張りました。



環境・人権
未来への学び



5、6年生が 救命救急体験活動に参加しました。心肺蘇生について、「心臓マッサージ」「AED操作」についてモデルをもとに学んだのびっ子たちでした。水難時だけでなく、日常生活においても、誰もが身に付けておく大切な技術です。「人の命を守る」ことができるのびっ子に成長した時間でした。ご指導いただいた北消防署の署員の方々に心よりお礼申し上げます。

